

平成26年4月30日

教育庁教育政策課

平成25年度「学校非公式サイトに係る調査」の年間結果の公表

～ 不適切な書き込みが平成24年度から197件減少 ～

熊本県教育委員会では、上記調査について、専門業者に業務委託し、不適切な書き込み等について各学校が適切に対応できるよう支援しています。この度、年間の調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。（詳細は別添のとおり）

調査結果の概要

●書き込み件数

	【H24】		【H25】
書き込み全体	3,983件	→	3,786件（－197件）
月平均	332件	→	316件（－16件）

【POINT】書き込み件数が197件減少しており、指導の成果が表れている。

●書き込み内容

「個人情報の流布」	98.1%	「いじめ・中傷」	0.1%
「不法行為」	0.1%	「トラブル」	0.1%

【POINT】前年度の調査と同様に、「個人情報の流布」の割合が高かった。

●リスクレベル

	【H24】		【H25】
低レベル	3,976件	→	3,782件（－194件）
中レベル	7件	→	4件（－3件）

【POINT】中レベル、低レベルともに減少傾向。高レベルの書き込みはなし。

●校種の割合

	【H24】		【H25】
中学校	1,275件	→	322件（－74.7%）
高等学校	2,703件	→	3,464件（＋28.2%）

【POINT】高等学校が増加傾向。今後も情報モラル教育の充実を図る。

担当：教育政策課（広報・情報班）

西村、山本、太田

TEL:096-333-2674 内線6617

(別添)

「学校非公式サイトに係る調査」結果報告

1 調査結果の詳細

(1) 目的

「学校非公式サイト」における不適切な書き込み等について、専門の業者にそれらの検索・調査・削除代行等の業務を委託し、各学校が問題のある書き込みなどに対して適切に対応できるように支援する。

(2) 調査対象の学校

熊本市を除く県内すべての公立の中学校、高等学校、特別支援学校の合計205校を対象（政令市移行に伴い熊本市は平成24年度から独自に実施）

(3) 調査期間

平成25年4月 ～ 平成26年3月

(4) 調査業者

ネット監視調査専門業者「ピットクルー株式会社」

(5) 調査方法

- ①キーワード等による学校ごとの検索（インターネット及び携帯電話のサイト）
- ②検索結果を目視で確認。
- ③以下の3段階のレベルで、書き込み内容を判別。

レベル	具体的内容	対応・対策
高	・犯罪予告や児童生徒の生命に関わる事など緊急性の高いもの。	・内容により、県警等とも連携し即時対応。 ・削除依頼代行及び継続調査 ・緊急報告で、市町村教育委員会・関係学校へ書き込み内容等を連絡し指導を依頼する。
中	・緊急性はないものの、早期の指導・対応等が望ましいもの。	・削除依頼代行及び継続調査 ・緊急報告で、市町村教育委員会・関係学校へ書き込み内容等を連絡し指導を依頼する。
低	・緊急性はないが、必要に応じて適切な指導・対応等が望ましいもの	・定期報告で、市町村教育委員会・学校へ連絡し、適切な対応を依頼する。

(6) 調査・対応の流れ

①緊急報告

- ・レベル高またはレベル中については、即時に対応し、緊急報告を作成。
- ・緊急報告は、関係する教育委員会・学校に即日送付し、対応を依頼。

②定期報告

- ・指導資料となる各学校単位の報告書、教育委員会単位の集計分析をまとめた報告書を、第1回から第6回の合計6回を送付。

③事後対応

- ・学校で対応しにくい記事の削除を調査業者が依頼代行を実施。
- ・レベル中以上の書き込み事例については、継続的に調査を進める。

2 調査結果

(1) 不適切な書き込みの総数

- ・不適切な書き込みの総数は、全体で**3,786件**であった。校種別では、**中学校が8.5%(322件)、高等学校が91.5%(3,464件)、特別支援学校が0.0%(0件)**であった。

【校種の内訳・推移】

	中学校	高等学校	特別支援学校
通年	8.5% (322件)	91.5% (3,464件)	0.0% (0件)
第1回 (4・5月)	8.8% (51件)	91.2% (526件)	0.0% (0件)
第2回 (6・7月)	5.9% (39件)	94.1% (626件)	0.0% (0件)
第3回 (8・9月)	5.0% (37件)	95.0% (698件)	0.0% (0件)
第4回 (10・11月)	7.0% (47件)	93.0% (624件)	0.0% (0件)
第5回 (12・1月)	12.2% (65件)	87.8% (466件)	0.0% (0件)
第6回 (2・3月)	13.7% (83件)	86.3% (524件)	0.0% (0件)

(2) 前年度との比較

- ・**1か月平均の書き込み件数316件は**、24年度の332件と比較して、**4.8%減少し、これまでの指導の成果が表れている**。しかし、一過性である可能性もあり、継続的な実態把握と日常的な指導や注意喚起が今後も必要である。
- ・**中レベル4件は**、24年度の(7件)と比較して**42.9%減少し、低レベル3,782件は**、24年度(3,976件)と比較して**4.9%減少した**。

- ・校種別では、
中学校が、24年度（1,275件）から、25年度（322件）と**74.7%減少**
高等学校が、24年度（2,703件）から、25年度（3,464件）と**28.2%増加**
 特別支援学校が、24年度（5件）から、25年度（0件）となった。

【検出件数（昨年度との比較）】

	H25	H24	増減
月平均	316件	332件	-16件
合計	3,786件	3,983件	-197件
レベル高	0件	0件	0件
レベル中	4件	7件	-3件
レベル低	3,782件	3,976件	-194件

※月平均は、合計÷12か月で計算したもの。

【リスクレベルの内訳・推移】

	高レベル	中レベル	低レベル
年間	0件	4件（中学2件，高校2件）	3,782件
第1回	0件	3件（中学2件，高校1件）	574件
第2回	0件	0件（中学0件，高校0件）	665件
第3回	0件	0件（中学0件，高校0件）	735件
第4回	0件	1件（中学0件，高校1件）	670件
第5回	0件	0件（中学0件，高校0件）	531件
第6回	0件	0件（中学0件，高校0件）	607件

（3）書き込み内容

- ・書き込みの内容別では、**「個人情報の流布」が98.1%、「いじめ・中傷」が0.1%、「不法行為」0.1%、「トラブル」0.1%**であり、前年度の調査と同様に、**「個人情報の流布」の割合が高かった。**（前年度85.6%）
- ・中レベルでの書き込み内容は、不法行為やトラブルが多く、継続的な指導が重要である。

【中レベルの内訳・推移】

	いじめ 中傷	不法行為	トラブル	個人情報の 流布	その他	合 計
年 間	0 件	2 件	2 件	0 件	0 件	4 件
第 1 回	0 件	1 件	2 件	0 件	0 件	3 件
第 2 回	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
第 3 回	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
第 4 回	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
第 5 回	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
第 6 回	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

【低レベルの内訳・推移】

	いじめ 中傷	不法行為	トラブル	個人情報の 流布	その他	合 計
年 間	2 件	0 件	0 件	3,715 件	65 件	3,782 件
第 1 回	0 件	0 件	0 件	566 件	8 件	574 件
第 2 回	0 件	0 件	0 件	655 件	10 件	665 件
第 3 回	0 件	0 件	0 件	723 件	12 件	735 件
第 4 回	0 件	0 件	0 件	660 件	10 件	670 件
第 5 回	2 件	0 件	0 件	518 件	11 件	531 件
第 6 回	0 件	0 件	0 件	593 件	14 件	607 件

【中レベルの書き込みに関する具体例】

トラブル	交友関係のトラブルに伴う自殺願望。
不法行為	ゲームソフトの違法ダウンロードによる利用。

3 対応や指導の状況

(1) 学校・教育委員会への緊急報告

- ・リスクレベルの中レベル4件については、県立学校や市町村教育委員会に緊急報告し、早期解決を図るようにした。

(2) 学校での指導の充実

- ・書き込んだ生徒本人に削除するように指導するとともに、全校集会等で不用意な書き込みの危険性を指導するなど、生徒指導等で有効に活用された。

【書き込んだ本人が特定できた】

書き込んだ本人が特定できた	4件
書き込んだ本人が特定できない	0件
その他（学校関係者以外）	0件

【書き込みの削除】

書き込んだ本人が削除した	4件
委託業者に削除を依頼した	0件
その他（学校関係者以外）	0件

4 平成26年度の展開

(1) 調査事業の実施 [継続]

平成26年度も、専門業者に検索・調査・削除代行等を委託し、平成21～25年度の調査結果との比較を行い、早期解決と書き込み数の減少を目指す。

(2) 情報安全ファシリテータの設置と学校やPTA等の研修会での活用促進 [新規]

学校関係者を対象とした講習会を実施し、情報安全ファシリテータを育成する。情報安全ファシリテータが学校やPTA等の研修会に積極的に参加し、調査結果や早期解決するための事例紹介等の情報提供を行う。

※ファシリテータとは促進する者の意味。

(3) 家庭向け指導資料の有効活用 [新規]

平成25年度に改定した家庭向け指導資料を県内の全教員に配布したので、情報モラル教育において有効活用してもらおうよう、学校・家庭が連携した取組みを促進する。

※上記については、現在調整中のため、5月の記者発表で詳細をお伝えする。

5 報道資料提供等の予定

平成26年 7月：学校非公式サイトに係る調査の調査結果（4～6月分まで）

担当：教育政策課（広報・情報班）

西村、山本、太田

TEL：096-333-2674 内線6617

MAIL：nishimura-k-ks@pref.kumamoto.lg.jp

学校非公式サイトに係る調査結果について（熊本県教育委員会）

学校非公式サイトに係る児童生徒による不適切な書き込みの調査を行い、その結果を分析して、児童生徒の指導に活用する。

調査期間

平成25年3月25日～平成26年3月20日

調査方法

①現状調査：公立の全中学・高校・特別支援学校を期間中、定期的に巡回

②継続調査：不適切な書き込みの後日の状況を確認

	調査対象 学校数	投稿検出 学校数
中学校	129	67
高等学校	59	55
特別支援学校	17	0
合計	205	122

投稿内容 の分類	高		低		
	7pt	6pt	5pt	4pt	3pt
いじめ・ 中傷	0	0	2	0	0
不法行為	0	2	0	0	0
トラブル	0	2	0	0	0
個人情報 の流布	0	0	412	693	2,610
その他	0	0	0	64	1

サイト種別	高	中	低		
	7pt	6pt	5pt	4pt	3pt
BBS (スレッドフロート型)	0	0	1	0	3
BBS(独立型)	0	0	0	0	0
Blog	0	0	1	2	10
リアル	0	4	371	697	1,760
プロフィール	0	0	16	18	238
ゲーム・SNS	0	0	0	3	30
HP作成サービス	0	0	25	37	570

問題投稿のリスクレベル別内訳(実数)

問題投稿	リスク高	中学校	0	0
		高等学校	0	
特別支援	0			
リスク中	中学校	2	4	
	高等学校	2		
	特別支援	0		
リスク低	中学校	320	3,782	
	高等学校	3,462		
	特別支援	0		
合計		月平均： 316	3,786	

レベル高：犯罪予告や児童生徒の生命に関わる事など緊急性の高い内容。
 レベル中：緊急性はないものの、早期の指導・対応等が望ましい内容。
 レベル低：緊急性はないが、必要に応じて適切な指導・対応等が望ましい内容。

■学校種類別推移
(投稿日別)

